

# 早川よしゆき 市政報告

## 第32号

### 6月定例会・9月定例会

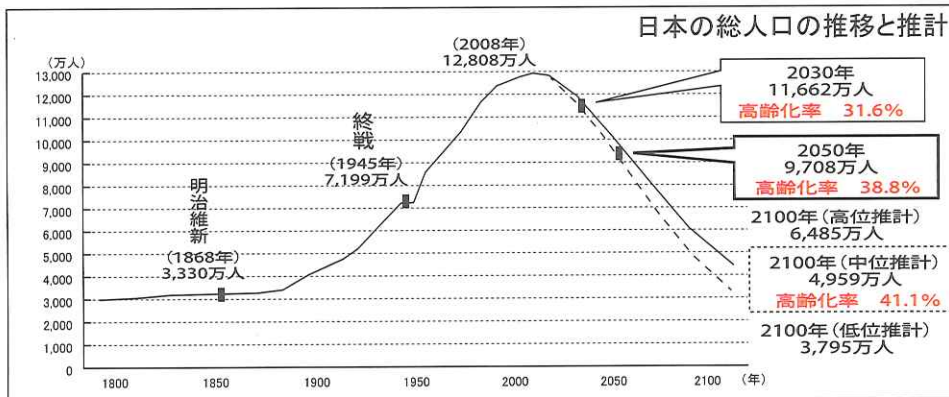
6月の定例会、9月の定例会では、それぞれ議案や市政全般について別表の人数の議員が一般質問を行い、活発な議論を

展開しました。私は、6月議会はトッパッターとして、9月は2番手として登壇しました。

会派名など	6月議会 質問者数	9月議会 質問者数
水曜会	6人	8人
公明党	4人	3人
誠勇会	3人	3人
市民連合	2人	2人
日本共産党	2人	2人
新政クラブ	1人	1人
無所属	2人	2人
合計	20人	21人



### 6月議会



**【質問】** 「地方中枢拠点都市」へ応募した経緯と本市の役割は。

**【答弁】** 人口減少に伴い、単独の市町で全ての行政サービスを提供することが困難になる事態に備え、本市が地域の核となり、圏域の活性化に資するため応募した。広域連携を通じて将来にわたり発展し続ける圏域づくりにつなげてゆく。

地方中枢拠点都市構想とは？人口減少、少子高齢社会にあっても経済の発展を持続可能なものとし、安心して暮らしを営んでいける地域にするための都市制度である。本市が中枢拠点都市（府中、尾道、三原、井原、笠岡、世羅町、神石高原町）圏域の成長エンジンの役割を果たし、備後圏域の経済の活性化を図り、人口流出抑制・人口の維持が出来る事を目指す。

**【要望】** 拠点都市として名乗りを上げた以上、大きな責任感を持って持続的に取り組んで欲しいと要望する。

### 9月議会

**【質問】** 市長が目指す「心の豊かさ」や「向こう三軒両隣」という都市のイメージをお示しく下さい。

**【答弁】** 私が目指す「心の豊かさ」とは、市民ひとりひとりが自分のもつ力をまちづくりにかし、お互いが助け合い、支え合う中で「人に必要とされている」「人の役に立っている」という社会です。

「向こう三軒両隣」という人の温もりを感じる事が出来る地域社会。ローズマインド（思いやり、優しさ、助け合いの心）が市民一人一人に育まれる社会。そして誰もが将来の夢や希望を抱ける社会が目指すことからの都市イメージです。

私が議員になって十八年余り。成熟社会の到来、人口減少社会へと社会環境は随分と変化してきました。

経済成長による『物の豊かさ』では満たされなない『心の豊かさ』を実感できる社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。



二上りおどり  
毎年元気に参加しています



早川佳行の  
主な役職

61才

福山市議会議員

五期目

総務委員会 委員

行財政改革特別委員会

委員

福山市個人情報

保護審議会 委員

福山市社会教育委員会

委員

ふくやま美術館及び

書道美術館運営委員会

委員

今年度から議会報告を年4回を年3回（四月・十月・一月）にして発行・配布させていただきます。

早川 佳行

発行者

福山市議会 水曜会  
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901  
 電話 (084)972-3195  
 事務所 福山市加茂町上加茂 265  
 電話 (084)972-8999  
 FAX (084)972-2093

# 水曜会

第32号

平成26(2014)年10月発行

発行者 福山市議会 水曜会  
住 所 〒720-8501  
福山市東桜町3番5号  
電 話 084-928-1123  
F A X 084-920-1104



はらのまち福山

## 九月定例市議会

本会議は九月二日開  
会。中枢拠点都市の  
推進事業費などの一  
般会計補正予算23議  
案や議員提案の「平  
成27年度予算(介護・  
子ども)の充実強化  
を求める意見書案」  
を賛成多数で可決し  
ました。

来年度から、地方中  
枢拠点都市の事業を  
推進

補正の主なものは、本  
市が中心となり、備後地  
域の6市2町が新たな広  
域連携を進める「地方中  
枢拠点都市」に係るモデ  
ル構築事業費などや、定  
期接種となる水痘や高齢  
者肺炎球菌の予防接種費、  
生活困窮者の自立相談支  
援費など、来年度から実  
施にむけてのモデル事業  
費です。

公共事業の追加は、が  
んばる地方交付金を活用  
し、北部市民センターの  
舞台設備改修などです。  
商店街の活性化として  
アーケードの改修や防犯  
カメラの設置などの事業  
です。

ご寄附は、移動図書館  
車を購入するなど、それ  
ぞれの趣旨にあった事業  
に充当します。  
その他、いじめによる  
重大事態等が発生した場



小川眞和議長

### 9月補正予算額

一般会計 6億1,547万円  
特別会計 3,618万円  
補正予算総額  
(全会計) 6億5,165万円

### 9月一般会計補正予算(主な事業)

地方中枢拠点都市広域連携推進事業費	1,250万円
予防接種費(水痘・高齢者肺炎球菌)	2億9,817万円
生活困窮者自立支援事業費	1,800万円
水防対策用資材費	200万円
コミュニティ施設整備費補助	240万円
地域集会施設建設費補助	90万円
子ども広場設置費補助	25万円
がんばる地域交付金	4,780万円
小学校施設維持改良費・北部市民センター補助・ 市立保育所施設維持改良費・障害者体育センター 補助・内海ふれあいホール整備	
県補助事業	4,000万円
市単独事業	3,920万円
維持補修(土木施設・農林水産施設)	8,700万円
商店街利便施設整備費補助	882万円
寄付金対応(移動図書館車・財団補助)	2,700万円
制度上必要とするもの	1,502万円
その他	2,360万円
いじめ問題調査委員会委員報酬費など	
介護保険特別会計	2,684万円

企業債残高の削減・  
下水道の老朽施設の  
更新に備え、使用料  
の引き上げ条例改正



合に対処するための、い  
じめ問題調査委員会の運  
営費などです。

### 地方中枢拠点都市とは、

地方都市において、複数の自治体が適切な役  
割分担のもと、それぞれの地域が有する独自の  
資質を活かしつつ、都市機能の充実、居住環境  
の整備、業務施設の立地等を計画的に推進し、  
地域の拠点性をさらに高めるとともに、地域間  
の交流・連携を促進することで活力の維持・向  
上に努め、魅力溢れる豊かな地域社会の創造を  
めざすものです。

一般会計からの基準外  
繰入金の解消、1000  
億円を超える企業債残高  
の削減、下水道の老朽施  
設の更新に備えるためや  
負担の公平性の観点から  
使用実態に応じた料金・  
使用料体系の構築のため  
の下水道条例改正です。

### 賛成討論

本補正予算は、今後の  
本市の将来像を築くため  
に必要な予算であり、拠  
点都市の役割や、産業基  
盤の整備に取り組む事。  
移動図書館車の更新は、  
寄付企業などの思いを適  
切に受け止め、貸出し冊  
数が増加するような運用  
に努めることや、学校司  
書配置に向け鋭意努力す  
ることを要望し、賛成。

一般質問に水曜会か  
ら最多の8人が登壇  
羽田市政を質す

- 九月議会で水曜会の一一般質問  
者と主な質問項目は、左記の通  
りです。
- 小林茂裕  
上下水道について
  - 早川佳行  
本市の林業、木材産業の振興  
策について
  - 熊谷寿人  
全国学力・学習状況調査につ  
いて
  - 高田健司  
老人クラブの現状と課題につ  
いて
  - 大田祐介  
芦田川河口堰について
  - 榊原則男  
ネーミングライツ事業につい  
て
  - 連石武則  
子ども・子育て支援について
  - 木村秀樹  
本市の土砂災害対応について  
詳細は、十一月一日発行の  
「福山市議会だより」に掲載し  
ます。